

**JASDAQ**

平成 25 年 3 月 1 日

各 位

会 社 名 テクノホライズン・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 竹内 清
(JASDAQ・コード 6629)
問合せ先
役職・氏名 常務取締役 渡 邊 毅
電話 052-823-8551

新製品『MIPI 対応 高速キャプチャボード』発売に関するお知らせ (当社連結子会社：株式会社グラフィン)

当社の連結子会社である株式会社グラフィンは、平成25年5月より、スマートフォン等に搭載される高解像度CMOSイメージセンサ（※1）の高速化ニーズにMIPI規格（※2）で対応した『高速キャプチャボード GPLAB-1500シリーズ』を発売いたしますので、お知らせいたします。

MIPI規格（※2）対応高速キャプチャボード（GPLAB-1500シリーズ）とは：

スマートフォン・携帯電話には13メガを超える高画素カメラが搭載されるようになっており、今後さらなる高解像度化、高速化、フルHD化等が進む中で、CMOSイメージセンサの信号出力高速化が必要条件となります。グラフィンのGPLAB-1500シリーズは最大1.5Gbps/laneという素早い動作でPCデータ伝送を行うことが出来る高性能キャプチャボードです。

- (※注記) 1. CMOSイメージセンサとはCMOS（相補性金属酸化膜半導体）を用いた固体撮像素子のことで現在はCCDに代わり、多くのスマートフォン・携帯電話・デジタルカメラの眼（カメラ）として採用されています。
2. MIPIとは、Mobile Industry Processor Interface の略で携帯電話用高速シリアルインターフェースのデータ転送規格を示し、株式会社グラフィンはモバイル機器アプリケーションの開発におけるインターフェースを標準化する非営利団体・MIPI Allianceのメンバーです。

株式会社グラフィン (GRAPHIN CO. LTD.) <http://www.g-in.co.jp/index.html>

所在地 : (本社) 東京都品川区南大井3 - 20 - 5
(東北開発センター) 山形県山形市松栄1 - 3 - 8

代表取締役：黒澤智明

設立年月 : 1993年（平成5年）1月

資本金 : 9200万円

主たる事業：画像処理および通信技術を応用した製品開発、技術開発

株主 : テクノホライズン・ホールディングス株式会社100%保有

詳細につきましては添付資料「株式会社グラフィン ニュースリリース」をご参照ください。

以上



2013 年 3 月 1 日
株式会社グラフィン

自社 MIPI™キャプチャボード 1.3Gbps 4lane 動作確認と新製品 1.5Gbps 版を 5 月発売

テクノホライゾン・ホールディングス(JASDAQ:証券コード 6629)傘下の株式会社グラフィン(代表取締役:黒澤智明、本社:東京都品川区)は、次世代スマートフォンに搭載される各社の CMOS イメージセンサが高速出力化される事にもない、自社 MIPI™キャプチャボードが MIPI™ CSI-2 D-PHY 1.3Gbps 4lane での動作確認と更なる高速化ニーズに対応できる 1.5Gbps 4lane x 2ch(または 8lane)版の「GPLAB-1500-8U : USB3.0 版」と「GPLAB-1500-8P : PCIe x8 版」を 5 月に発売する事としました。新製品は、今年 3 月 18 日~22 日に行われる MIPI™ Alliance Members Meeting Bangkok で展示デモが行われます。

現在、スマートフォンに搭載されるカメラは 13M 画素を超え、今後、さらなる高解像度化、高速連写・HDR ニーズ、Full HD・4K 動画ニーズに対応するため、CMOS イメージセンサは信号出力を高速化する必要があります。次世代の CMOS イメージセンサの出力は現状の D-PHY 1Gbps 4lane から最大 1.5Gbps 4lane に高速化される見込みです。

そのため株式会社グラフィンでは MIPI™ CSI-2 D-PHY 1Gbps 4lane に対応した現行機種「GPLAB-1000-4U : USB3.0 版」と「GPLAB-1000-CLSYS : PCIe x4 版」についてアジレント・テクノロジーの U4421A MIPI D-PHY プロトコル エクセサイザ/アナライザを使用し動作検証を行いました。その結果、両製品ともに最大 1.3Gbps/lane まで正しくキャプチャできる事を確認いたしました。最大 1.3Gbps/lane 動作が可能な「GPLAB-1000-4U」と「GPLAB-1000-CLSYS」はユーザからの希望があれば選別品として提供可能です。

【新製品の概要】

「GPLAB-1500-8U」と「GPLAB-1500-8P」は MIPI™ CSI-2 D-PHY 最大 1.5Gbps 4lane のカメラを 2 台、または特殊用途で 8lane のカメラを接続できるように D-PHY 周辺回路を新規設計したキャプチャボードです。「GPLAB-1500-8U」は最大 370MByte/sec の PC データ伝送が可能な USB3.0 を採用した製品で「GPLAB-1000-4U」の後継機種になります。

「GPLAB-1500-8P」は「GPLAB-1000-CLSYS」の後継機種ですが最大 12Gbps(1500MByte/sec)の PC データ伝送を可能にするため伝送ケーブル方式、PCIe カードを新規設計しました。画像評価には簡易画像表示ソフトウェア EasyLab が標準添付されておりますので GUI の設定だけで簡単に画像表示が可能です。また、カメラ I/F コネクタや SDK(API)も従来製品と上位互換が保たれていますので既存システムからの移行がスムーズに行えます。

【販売方針】

- ・ 販売先：CMOS イメージセンサ／カメラモジュールの研究開発、
セールスデモンストレーション、製造現場での出荷検査装置向け
- ・ 販売価格：オープン価格
- ・ 出荷開始時期：2013 年 5 月出荷開始

【グラフィンについて】

グラフィンは、画像処理技術のグラフィックス (Graphics) と情報通信技術のインタフェース (Interface) という 2 つの異なる分野を統合した製品を提供しようという理念の基、1993 年 1 月に設立した会社です。MIPI Alliance のメンバーとして CIS の研究開発、セールスプロモーション、製造の現場で必要とされる画像評価ソリューションをご提供してまいります。

【アジレント・テクノロジー U4421A について】

Agilent U4421A MIPI D-PHY プロトコル エクセサイザ/アナライザは MIPI D-PHY 最大 1.5 Gbps 4 レーンで最大 16 GB のトレースメモリを搭載できるエクセサイザ/アナライザです。インタフェースの解析と入力信号の作成をリアルタイムに行えます。CSI-2 (Camera Serial interface) と DSI (Display Serial Interface) に対応し、コントローラおよびディスプレイ/カメラ・デバイスの動作を包括的に評価できます。

【MIPI (Mobile Industry Processor Interface) について】

MIPI Alliance は、モバイル機器アプリケーションの開発においてマイクロプロセッサ、周辺機器とソフトウェアインターフェースに焦点を合わせ、標準化している非営利の団体で、詳細は www.mipi.org から参照する事ができます。

【プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社グラフィン 営業部

TEL 03-5493-1211

E-mail : sales@g-in.co.jp URL: <http://www.g-in.co.jp>